北九州市立大学

# 文学部
# 人間関係学科
# 学科案内

The University of Kitakyushu
Faculty of Humanities
Department of Human Relations

# CONTENTS

**1**. 学科からのメッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

**2**. 教員紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

**3**. 人間関係学科Q＆A ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

1）入試関連 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

2）大学での学び ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

3）取得できる資格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

4）卒業後の進路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

**4**. 学生たちの声 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

# 高校生のみなさんへ

## —人間関係学がめざしていること—

どんな時代にも、どんな場所でも、私たちはいつも誰かとつながって生きてきました。しかし人間関係は複雑で変化に満ちています。人間関係は私たちを幸福にすることもあれば、大いに悩ませることもあります。それでも私たちはこれからずっと、新しい人と出会い、自分自身について表明したり表現したりしながら他者との関わりのなかで生きていくことでしょう。

そんな人間関係について知るための学問はとても奥深くそして多様です。一人一人のこころやからだに深く分けいっていくような学問もあれば、関係性の基盤となる社会制度やその仕組み、そして人と自然の関係がおりなす生活環境に着目するような分野があります。そうした学問領域では、人間関係を理解するための方法もまた多彩です。実験室や教室での観察を通してつちかっていく知識、地域や社会へと足を運んで経験する出会いや予想もしなかった体験、いずれも人間関係を「つなぐ」ためには欠かせません。

人間関係学は、私たちを取り巻くこれらの関係性を様々な学びをとおして「つなぐ」ことができる人間の育成を目指しています。目の前のひととつながるだけではなく、すでに出会っていることにまだ気がついていない人たちとそしてまた未来で出会う人たちともつながり、希望とともにあゆむために、大学での学びを糧にそれを実現していく、これが私たちが考える人間関係学の学問的独創性です。専門知識や方法を身につけながらも、既存の枠組みにとらわれることのない創造的な関係性を生み出すその中心となること。私たち一人ひとりの生とそこに携わる多くの人たちとのつながりを豊かにするために、人間関係学があるのです。

**人間関係学を通して身につける3つの「つなぐ」力**

1. 個人や集団の関係をつなぐ力
2. 情報や状況から関係をつなぐ力
3. 制度や社会のなかに関係をつなぐ力

# 2 教員紹介

## 岩松　文代

文化学、環境学を担当し、自然と人間社会の多様な関係性を見出そうとしています。主に森林、植物、食糧を対象に、人々の認知、言語、思考、嗜好、行動との相互関係が生み出す文化現象を研究しています。様々な環境・風土と人間との関係史も文化的創造物であり、そこに映し出された人間のあり方も研究テーマです。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

自然のなかにいることも、人から知らない話を聞くのも楽しい、植物が好きだが一番好きな科目は理科以外にある、天然資源への興味があるが、それらに関わる人々の考えや行動にも興味がある、自然環境や生き物への関心と同じく、それらを表現する絵画や文章への関心も強い、という人の居場所がここにありそうです。

## 入江　恵子

医療社会学とジェンダー研究、逸脱研究を専門にしています。病気の定義、何を病気とするかは時代や社会によって異なります。そうした「病い」＝その社会における逸脱状態におかれる個人について、特にその身体経験に着目し、聞き取り調査を行っています。当事者運動にも興味があり、フィールド調査も行っています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

受験生のみなさんは今さまざまな問題関心を持っているのではないでしょうか。人間関係学科にはそうした広い疑問・関心について深めることができる多様な講義が揃っています。また、実習と演習では卒業後もみなさんの助けになるスキルを身に着けることもできます。個性ゆたかな仲間をつくり、豊かな大学生活をすごしてください。

## 上田　紋佳

言語・学習心理学を専門とし、「ことば」や学び方・教え方について、心理学的観点から研究しています。特に、子どもの読書がどのような効果をもたらすのか、また、作文スキルがどのように育まれるのかに関心があります。毎年行う追跡調査を通じて、ことばの力の発達を明らかにし、読書や作文の指導に活かすことを目指しています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

大学生活には、そのときにしか経験できない体験や人との出会いがあります。興味のある学問に没頭し、学びを深めたり、多様な価値観を持つ仲間たちと交流したりする中で、新たな発見がきっと待っています。人間関係学科では、人と社会のつながりや人間関係の在り方について、多角的な視点で考え直すことができます。この学びを通じて、あなたらしい人間関係を広げてみませんか。

## 大江　將貴

専門は社会学（教育社会学・犯罪社会学）です。特に少年非行について研究しています。非行経験者がどのようなプロセスを経て非行の世界から離れていくのかという非行からの離脱に関心を持っています。非行から離脱するプロセスにおいて、非行経験者はどのような人生を送っているのか、またそのプロセスにおいてどのような困難に直面しているのかといったことを明らかにしようとしています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

大学生活では、勉強だけでなく、新しい人々との出会いやさまざまな活動を通じて、多くの貴重な経験を積むことができます。大学生活ならではの機会はたくさんあり、現地に行ってみたり、実際に体験してみたりするなど少しでも興味を持ったことには積極的に挑戦してみましょう。その一つ一つの積み重ねが、大学生活をより充実したものにしてくれるはずです。

## 金　汝卿

専門は社会学（国際社会学・ジェンダー社会学）です。移住や移民、国際関係、人権問題に関心があり、とくに民族と女性を中心に研究をしています。複数の差別が組み合わさる状況における社会的関係を有機的にとらえ、それを生き抜く人々の生き方を日常生活や生活文化に着目して考えています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

人間関係に関わる多様な分野の学問に接することで、社会を読み取る方法を学び、表現できる能力を身につけます。より広い世界に出会うことは、自分のことをより深く知り、周辺の変化を広い観点から理解できることに繋がります。そこから得られた知見は、学問的な知識のみならず、実際に活用できる力になるはずです。

## 児玉　弥生

専門は教育経営学・教育学です。学校と地域コミュニティの連携について研究を続けています。近年はインドネシアの学校における環境教育と防災教育を中心とするESDのカリキュラム開発とその効果の検証の研究をしています。また、外国にルーツを持つ子どもたちとその保護者についても関心を持っています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

人と出会い、学問と出会い、趣味（好きが続いていること）に興じ、それらを通して自分自身のなかの気づかなかった特徴や新たな可能性を発見するのが大学です。人間関係学科では人と人を取り巻く事象についてじっくり深く考えることができます。そうした時間を大事に過ごすことがその後の皆さんの礎にもなると思います。

## 税田　慶昭

発達心理学を専門とし、子どもたちのコミュニケーション行動の発達について研究しています。特にジェスチャーや視線など非言語的なコミュニケーションから言葉の獲得に至る過程について興味をもっています。一方、地域では臨床心理士・公認心理師として活動しており、初期のコミュニケーション発達に遅れを示す子どもたちの特徴を明らかにすることや、子ども・家族への支援も研究課題としています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

高校生の頃、勉強は嫌いでしたし、今でも好きではありません。ただ、自分の進路に向き合い、知りたい、突き詰めて考えたいと思えることが見つけられると学びは大きく変わった気がします。「私」はどうして今の「私」として成長してきたのか、そんな思いから私は発達心理学を選択しました。自分の興味は何だろう、どこに繋がるのだろう。自分自身にとことん問いかけてみるのもいいかもしれません。

## 柴原　健太郎

専門はスポーツ心理学（競技の実践心理、スポーツメンタルトレーニング）です。運動の実施やスポーツの経験がもたらす心理的な効果に関する研究やスポーツ競技者のエラーに関する研究をしています。また、スポーツ競技者を対象に競技力向上に向けたスポーツメンタルトレーニングに関する活動や心理支援なども行っています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

大学生活は4年間ありますが、あっと言う間に終わってしまいます。どんな4年間になるかは自分次第です。だからこそ、「主体性」を持って色々なことにチャレンジして、自分の可能性を広げてみてください。皆さんが充実した4年間を過ごせるように我々教員も全力でサポートします。

## 竹川　大介

専門は人類学です。人類学は「人間とはなにか」を考える学問で、人間性がどこから進化したのか、人がお互いにわかりあえるとはどういうことなのかなどについて、個人の関係から人類の普遍特性を明らかにしていきます。私はアジアや太平洋の小さなコミュニティをフィールドに、人類の環境への適応、共感や心の理論を軸にした葛藤解決や利他行動などの研究をしています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

大学での学びは、だれも知らないことを自分で発見していくものです。なので、これまでのように皆と同じに教えられることを、ただ覚えるだけではなく、興味あることを楽しみながら学んでほしいと思います。そして何よりも人間関係学科の皆さんには、フィールドに出てたくさんの人に会う経験を積んでほしいと思っています。人間は不思議な生き物です。その謎を探求しましょう。

## 田島　司

専門は社会心理学で、特に自己やアイデンティティの問題に興味があります。「自分自身をどのような人間だと思いたいのか」これは大事なことですが、それにこだわりすぎるとガンコになり、うまく適応できなくなります。かといって柔軟に対応してばかりでは「自分」というものが無くなってしまいます。このジレンマについて研究しています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

すぐに仕事で役立ちそうな勉強をしたり就職に有利な資格を取得したり・・・という気持ちは分からなくはないですが、あまり狭い勉強だけピンポイントで学ぶと、AIで代用されてしまったり、その職業に就けなかったりしたときに無駄になってしまいそうです。いつの時代にも、どんな仕事でも、ベースとなっている「人間関係」について、学んでおいてほしいです。

## 恒吉　紀寿

専門は社会教育学（ひろく社会において行われる教育。学校以外や卒業後の学びや成長について考える）です。子育て・子どもを通した大人の学び・成長や地域づくりなど民主主義社会の主体形成について考えています。人間が変わる・成長するとはどういうことか。その力量形成は人間関係や社会にとってどのような意味を持っているか、そのプロセスと支援について研究しています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

教育学は、教師になるためだけの学問ではありません。人間の成長や力量形成のプロセスやその支援について考えていきます。人間の価値観や能力に意図的に働きかけるため、人間や社会に対する理解が必要になります。本学科の多様な学問領域からアプローチする学びを活かして、自身の今後の人生や仕事、ボランティアなど社会生活に役立ててもらいたいと思います。社会教育士の取得も可能です。

## 濱野　健

専門は社会学（文化社会学・家族社会学）です。近年は、関連する法律や政策の移り変わりがめまぐるしく、たびたびマスメディアでも取り上げられる機会の多い離婚後の親子関係のあり方をめぐる様々な課題に関心を持っています。私たちにとって身近なつながりである家族の変化を社会的に説明することで、現代社会とその将来について考えています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

大学では多くの人達との新しい出会いが待っています。そうした未来の出会いから生まれる人間関係は、みなさんの将来にとってかけがえのない宝になるでしょう。それに加えて人間関係学科での学びを通し人間の多様性を理解することで、人との関係で困難に直面している人への支えになれる人間に成長できる機会にもつながります。

## 松本　亜紀

専門は認知心理学で、主に記憶、情動、注意をテーマに実験的研究を行っています。映画を見たり運動をしたりといった活動の種類によって気分がどのように変化するのか、気分状態が記憶や注意機能にどのような影響を及ぼすのか、注意機能はどのような生涯発達変化を示すのかなど、認知の様々な側面に関心があります。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

大学生活で勉強も遊びもたくさんの体験をしてください。大学生活は皆さんの可能性を広げる貴重な機会です。最初から興味がないと決めつけずに、いろんな授業やイベントに積極的に参加してみてください。触れてみると、今までは気づかなかった面白い発見がたくさんあるはずです。是非充実した4年間を過ごしてください。

## 山下　智也

専門は環境心理学・教育心理学です。子どもの遊び場や居場所において、子ども主体の遊びや育ちを大切にするために、大人はどのように関わればよいのか、どのような居方が求められるのか等を、実践と研究の両輪でアプローチしています。これらの探求を通して、子どもを取り巻く環境が豊かに保障されていくことを目指しています。

**受験生へのメッセージ ▶▶▶**

大学は自分の生活を自分でデザインする場所です。自分が何を学びたいのか、どのように学びたいのかはもちろん、一日をどう過ごすか、過去の自分をどう意味づけるか、将来に向けて今何をするのかなどを自分で決めていく、そんな魅力的な場所です。人間関係学科は、多様な学問領域が存在している分、そのデザインの自由度も高いはず。ぜひ大学を主体的に楽しんでください。

# 3 人間関係学科Q&A

このQ＆Aは、人間関係学科についてよく質問される事項の回答を載せています。基本的な事項については、冊子「入学者選抜要項」、冊子「大学案内」、ホームページ掲載情報（「募集要項」など）を参照してください。

## 1）入試関連

### 大学入学共通テスト

**Q1** ３教科３科目ということですが、どの科目を選択するのが有利ですか?

**A** とくに何が有利ということはありません。
英語、国語以外の科目は、何を選択してもよく、最も点数が高かったものを合否判定では使いますので、得意な科目を受験してください。そのため、できる限りたくさんの科目を受験しておくといいでしょう。

**Q2** 英語（リスニング）の配点はどのようになるのでしょうか?

**A** リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）を4：1の割合に換算し、合計で200点満点にした値が、英語の点数になります。

### 合格率や合格ライン

**Q3** 合格率はどの程度なのですか?

**A** ホームページ（http://www.kitakyu-u.ac.jp/）に出願者数、受験者数、合格者数などの詳細を掲載しています。それらを参考にしてください。年度によって異なりますが、倍率は、実質で2〜3倍程度です。詳細についてはホームページを参照してください。

**Q4** どの程度の点数をとれば合格しますか?

**A** 近年の合格ラインは、一般選抜（前期日程）については、大学入学共通テスト7.5割程度、個別入試5〜6割程度を得点すること、また、推薦入試の小論文の場合、全国推薦で6〜7割程度、地域推薦で6割程度が目安になるようです。ただし、年度によって異なりますので、詳細についてはホームページを参照してください。

### 小論文（学校推薦型選抜、一般選抜（前期日程）共通）

**Q5** 小論文の採点基準は?

**A** 出題の意図、答案の特徴・傾向等をホームページに掲載しています。年度によって多少異なりますが、以下のような採点基準をとっています。

**【主要採点項目】**
・妥当性　設問に対する答えになっているかどうか
・独創性　ユニークな解答であるかどうか
・論理性　論述が論理的であるかどうか

**【主要減点項目】**
文章表現、誤字、脱字、表現力など

## Q6 小論文では、どのような勉強をすればいいのですか?

**A** 文章を読んで、それに対して、自分の考えを文章で表現できるようにしてください。日頃から、いろいろなことに対して問題意識を持ち、自身の意見や考えが他者に論理的に理解されるよう、客観的な記述を心がけることも重要でしょう。そうした能力を獲得するためにも、いろいろな本を積極的に読みましょう。

文章を書けるようになるには、自分で書くことを積み重ねていくことが大切です。そして、書いたものを先生などに添削してもらうと上達するでしょう。誰かに読んでもらって意見を聞くのが上達のコツです。いずれにしても、自分にあった勉強法を自分で見つけることが大切です。

## Q7 小論文で英語は出るのですか?

**A** 一般選抜（前期日程）の小論文については、これまで課題文として英語の文章が出ることもありましたが、2021年度入試からは、日本語の文章のみでの課題文となっています。

学校推薦型選抜については、今まで通りです。小論文で英語が出ると確約はできませんが、これまでに課題文として、日本語の文章が出なかったことはありますが、英語の文章が出なかったことはありません。勉強としては、英語の文章が出てくるものだと考えておいた方がよいでしょう。

## Q8 小論文の問題の傾向は?

**A** ホームページに出題の意図、答案の特徴・傾向等を掲載していますので、それを参考にしてください。過去の問題は、残部がある分は高校から申請書をメールかFAXでご提出いただき（個人（受験生）からの申請は不可）、着払いで送付する対応を取っています。詳細については、大学ホームページの資料請求のページに申請書様式とともに記載しています。また、市販の受験参考書（いわゆる赤本など）も利用して過去の問題を見るとよいと思います。これまでの設問の傾向をみると、課題文が理解されているかを問う設問も出ているようです。勉強としては、小論文を書くことだけではなく、学校推薦型選抜入試では、英語や日本語で書かれた文章を読み解くことも日頃から行っておくとよいでしょう。

## Q9 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価はどのように行うのですか?

**A** 学校が推薦する学校推薦型選抜入試では調査書や受験する本人が記載する資料などを活用します。一般選抜（後期日程）では集団討論試験を行っていますので、討論での受験生の言動を通して評価を行います。

# 学校推薦型選抜入試（地域推薦・全国推薦・特別推薦）

## Q10 調査書は点数化されるのですか?学校間格差はどうなるのですか?

**A** 学校が推薦する学校推薦型選抜入試（全国推薦・地域推薦）では、評定平均値を数値化しています。調査書と推薦書を合わせて30点満点です。学校間格差は、客観的なデータがありませんので、考慮していません。ただし、実質的に大きな差がつかないようにしています。最大で10点ほどしか差がつきません。

## Q11 推薦の内容は判定基準に影響を与えるのですか?

**A** 推薦の内容による優劣はつけていません。高校のほうから推薦をいただいたということで信頼させていただいています。

特別推薦については、活動・資格等実績が合否判定の対象となります。

## 特別推薦入試

**Q12 特別推薦では、特別能力と小論文でどちらが重視されるのですか?**

**A** ほぼ半々だと考えていただいて結構です。

**Q13 特別推薦の合否はどうやってなされるのですか?**

**A** 特別能力と小論文でそれぞれある程度ランク付けをし、双方のランクが高いものから合格者を決めていくようなイメージです。数値化できない能力に対して評価しようという特別推薦のねらいですから、特別能力を数値化した判定は行っておりません。

**Q14 特別推薦で、出願できる活動内容はどのようなものですか?**

**A** 特別推薦は、勉学以外での高校時代の努力が評価の対象になります。したがって、その内容については、何でもかまいません。入学者選抜要項には、わかりやすく例示をしていますが、それ以外の内容でもまったくかまいません。

競技や資格などの成績については、出願要件のラインを設けてありますが、それ以外の活動では明確な要件はありません。活動内容については、競技実績でその実績がすぐわかるものもありますが、基本的には、どのような活動でも、どのような内容で、どのような実績があり、受験生がどの程度貢献したのかを添付資料を付けてアピールしてください。

**Q15 特別推薦で、どの程度の実績があれば合格できますか?**

**A** 最近の傾向としては、競技関連においては、全国大会レベルの実績を残した方の出願が多いようです。そのため、地方大会レベルの出場では合格ラインに達するのが難しくなっているようです。

人間関係学科では、小論文と特別能力をほぼ半々で判断することにしていますので、小論文で高得点をとれば、多少、特別能力が相対的に低くても合格する可能性は十分にあります。過去にそのような実績がありました。ただし、年によってどのような受験生が受験するのかはわかりませんので、判断が難しいところです。

**Q16 特別推薦で社会的活動などは、どのように評価されるのですか?**

**A** 競技種目に比較すると、判断が難しいと思います。

競技や資格などで高い実績を上げた人は、毎日のように勉強や練習をしたはずですから、その継続的な努力の成果に対して、評価が与えられます。社会的活動も、継続的な努力がなされたかどうかが評価の鍵です。例えば、月に1回程度、何の準備をする必要もなく、活動した程度では、他の競技や資格での実績に見劣りするでしょう。

また、団体で活動した場合、その中での貢献度が評価されます。リーダーとして中心的な役割を果たしたなどの実績は高く評価されます。

どの程度の継続性があったのか、どの程度の貢献度があったのか、さらに具体的にどのような内容のこと（準備段階も含めて）を行ったのかを、推薦書に書いて（別途資料に付けることができます）アピールしてください。

**Q17 特別推薦で、出願できる資格はどのようなものですか?**

**A** 出願する際は、どの資格が可能で、どの資格が不可能ということはありません。入試概要にあげてある例については、そのレベル以上でないと出願できません。しかし、それ以外の資格については、出願時に絶対にダメだということはありません。世の中には多くの資格がありますので、例示されていない資格の場合には、出願時にどの程度の難易度なのか、どの程度価値あるものと認められたものなのかを記載していただく必要があります。

**Q18** 特別推薦で合格した場合には、入学後もその特別活動を続けなければいけないのですか?

**A** 高校在学中の継続的な努力を評価していますので、入学後に活動を続けるかどうかは制限しません。入学後も継続して活動している人ももちろんいますが、高校までの活動とは別の新たなことに挑戦する人もいて、入学後の活動の継続についてはいろいろです。

**Q19** 同一高等学校において、団体競技などで同一業績を得た2名以上が受験してもいいのですか?

**A** 受験するのは同一業績の2名でもかまいません。2022年度入試からは、推薦枠を「1高等学校あたり各学科2名」に限定しています。詳細については「入学者選抜要項」を参照してください。

## 一般選抜（後期日程）の集団討論について

**Q20** 集団討論はどのような形式ですか?

**A** 与えられたテーマにしたがって、5名か6名で討論を行います。面接官は一切関与せずに、受験生だけで進めていただきます。面接官は、受験生の討論の様子を見て、採点します。

**Q21** 採点基準は?

**A** 出題の意図、集団討論で見られた特徴・傾向等をホームページに掲載しています。
ちなみに、過去の入試では、以下のような内容が掲載されています。

＜一部抜粋です。＞

**＊出題の背景・求める能力**

後期日程の試験科目である集団討論は、数人の受験生による与えられた討論テーマに基づいての討論である。テーマを設定した討論場面において、自分自身の見解をテーマに沿って論理的・独創的に表現できる能力、情報提供や意見調整など円滑なコミュニケーションを進める能力、集団の中で適切なかたちでリーダーシップを発揮していける能力などが求められます。

**＊受験生への情報提供**

人間関係学科では、学際的・総合的な視点が必要となり、テーマに示された手がかりを、どのように解釈して深めていくのかが採点上の重要なポイントです。

個人の見解に注目しているのではなく、集団でテーマを深めていく、考察を発展させていけるかを見ています。意見を引きだし、テーマに沿って多様な視点で深めていけるか、ステレオタイプでなく、独創的な意見や、それも含めたコミュニケーション力についても採点上の重要なポイントとしています。

**Q22** 集団討論にあたって、どのような勉強をすればいいのですか?

**A** 他者の考えを聴いて、それに対して自分の意見を口頭で表現できるようにしてください。他者の意見に対して、一方的に反論や賛成をするのではなく、論点と根拠を明らかにできるようになっていなくてはいけません。

日頃から、いろいろなことに対して問題意識を持ち、自身の意見や考えを、他人に対して説得力を持って伝えるにはどうすれば良いかを考えることが大切です。また、他人の意見を受け入れ、建設的な議論を組み立てることも重要です。自分の意見を手短に表現できるように、いろいろな機会で積極的に発言するようにしましょう。

いずれにしても、自分にあった勉強法を自分で見つけることが大切です。

スロープからみた北九州市立大学本館

# 2）大学での学び

## 学科の授業の特徴

**Q1 人間関係学科の授業の特徴を教えてください。**

**A** 人間関係学科の授業は、1～ 2年次の人間関係学演習Ａ・Ｂや2年次の実験・実習科目など、参加型の学習が充実しているのが特徴です。少人数で実際的な実験や調査などを行いながら、専門領域に関する基礎的な力を養います。フィールドワークなど教室外、大学外での活動も行っています。

## 授業科目等

**Q2 カウンセリングの勉強はできますか?**

**A** 北九州市立大学では、カウンセリングに関する基本的な知識や理論について学ぶことができます。カウンセラーを目指す場合、より高度な知識や技術を身につけたい場合には専門的な勉強をし、多くの実践経験を積まなければいけません。本学ではそのための基礎作りにウェートを置いた授業内容を採り入れており、卒業後に臨床心理士養成の指定大学院・専門職大学院に進学する学生たちもいます。カウンセラーは心の援助に関する専門職ですから、知識ばかりではなく、かなりの努力と忍耐が必要とされます。また向き不向きもあります。勉強したからといって誰もがカウンセラーになれるわけではありません。
**（補足：本学では公認心理師養成課程は開設されていません）**

**Q3 「認知心理学」や「臨床心理学」などの違いがよくわかりません。**

**A** 臨床心理学では、不適応や障害とその援助のあり方について学びます。心理学の中にあっては、人間社会の心の問題に対処する応用的な内容です。一方、認知心理学は、どちらかというと基礎的な内容です。認知とは、人間の知覚・記憶・思考といった処理過程のことをさします。ただし、知覚・記憶・思考は、私たちの生活場面で切り離せないところですので、応用的にとらえていくこともできます。近年の認知心理学は、むしろ、そういったところにさかんにアプローチしています。

**Q4 「犯罪心理学」を学ぶことはできますか?**

**A** 「犯罪心理学」といった科目は開講されていないため、科目がないという意味では学べません。ただし、心理学のいろいろな科目で学んだ知識から、あるいは、人間関係学科の心理学以外の科目から、なぜ人は犯罪を行ってしまうのかについて考えることはできます。大学では自分の知りたいことをすべて学ぶことができるわけではありません。自分で知りたいことを学ぶ環境を提供してくれるのが大学です。各学問の基礎知識は授業で提供しますが、それをどのような場面で活かすかは学生本人が行うことです。

**Q5 大学外に出かけて学んだりしますか?**

**A** 実習科目では、近くにある市場や小学校など、いろいろな場所に出向き、そこであらゆる世代のさまざまな人に会い、それらの人々と関わりながら、調査の手法や関わりの技法を学びます。そして、調査で集めたデータや関わりを通して得られた体験を理論的・学問的に考えていきます。
卒業論文を書くために、県外や外国に調査に出かける学生もいます。

## その他

**Q6** 留学は可能ですか?

**A** 可能です。留学には協定校への交換留学や語学研修があります。また、現地での文化交流などを含め留学には多種多様な選択肢があります。人間関係学科の学生も、短期・長期で様々な留学をしています。留学先も欧米からアジアまで多様です。大学が募集する留学プログラムについては、大学等からの助成金を得ることも可能です。

留学と就職の関係については必ずしも有利であると断言できませんが、留学が不利になることはありません。留学が自分の将来構想や学生生活の上で必要と判断した場合は、大学等からの案内を通して前向きに検討するのもよいと思います。

**Q7** 転学科はできるのでしょうか?

**A** 制度としてはあります。しかし、かなりハードルが高く、これまでの例は非常に少ないです。

# 3 ）取得できる資格

## 教員免許・認定心理士・学芸員など

**Q1** 教員免許はどの程度の学生が取得していますか?就職はどうなっていますか?

**A** 人間関係学科では、2010（平成22）年度の卒業生から中学校教諭一種免許状（社会）と高等学校教諭一種免許状（公民）を取得することができるようになりました。例年、おおよそ7、8名の学生が1年次に教職課程の履修登録を行い、教員免許状の取得を計画しています。

これまで教職に就いた卒業生はいますが、社会科や公民科の場合、2018年度は1名いるものの、現役学生の教員採用試験合格はなかなか難しく、講師経験などを経て教員になるケースが多いようです。

**Q2** 認定心理士の資格取得者数を教えてください。また、メリットはありますか?

**A** 例年数名の学生が取得をしています。日本の心理学関係の学会で最も権威のある「日本心理学会」が認定した資格ですので、心理学を勉強したというお墨付きになっています。

何か特定の仕事をするための資格ではありません。心理学全般について勉強したことを証明するだけですので、それをどのような仕事に応用するかは、本人次第です。

**Q3** 学芸員の資格取得者数はどの程度ですか?また、学芸員に就職することはできますか?

**A** 毎年数名が資格を取得しています。4年次には博物館などでの実習をすることになります。学芸員は、研究職としての位置づけですので、大学院できちんと勉強をしないと学芸員の仕事に就くのはなかなか難しいですが、これまでには実際に学芸員として就職している例もあります。

**Q4** 社会教育主事（社会教育士）の資格はどのような場合に有利なのですか?

**A** 社会教育主事（社会教育士）は、任用資格です。任用資格とは、その職種に就いたときに、「〇〇主事」と名乗ることができるという程度のものだと考えるといいでしょう。この資格がないと社会教育の仕事に就けないわけでもなく、この資格を持っているから、公務員試験に有利になるというものでもありません。

なお、社会教育主事の単位取得者には、社会教育士の称号が付与されるようになりました。社会教育士には、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働して、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されます。

また、民間の福祉施設などでは、職員として備えるべき知識の基準として任用資格が評価されることもあるようです。公務員になってから、職務上資格が必要になってから集中講義等で単位を取得することも可能ですが、その分野での仕事を希望する場合は、在学中に取得しておくことが望ましいでしょう。

## 複数の資格取得・資格取得後の就職など

**Q5 複数の資格を取得することはできるのでしょうか?**

**A** 教員や学芸員の資格取得のためにとらなければならない授業は多く、そこには実習なども含まれているので、現実には、教員と学芸員両方の資格を取ることはかなり困難です。ただし、教員と認定心理士の資格、学芸員と社会教育主事の資格などのように、組み合わせによっては複数の資格取得が可能です。とはいえ、取らなければならない授業が多いことは確かで、1年次からの計画的な履修が必要になるでしょう。

**Q6 臨床心理士の大学院に合格している学生はどの程度ですか?また、臨床心理士をとって、どの程度卒業生が就職しているのでしょうか?**

**A** 年によって変動しますが、年間数名の学生が大学院に合格しています。就職に関しては、本学卒業後に他大学の大学院に進学した学生の情報がすべて入ってくるわけではないため正確な実態はつかめていませんが、病院や児童相談所、福祉施設、教育機関などで職を得ているようです。

**(補足:臨床心理士になるには、臨床心理士養成の指定大学院や専門職大学院に進学後、さらに資格試験に合格をしなければなりません)**

卒業論文中間発表会の様子

# 4 ) 卒業後の進路

## 就職・進路先など

**Q1 人間関係学科の学生はどのようなところに就職していますか?**

**A** 人間関係学科の就職率(就職希望者に対する就職者の割合)はここ数年を見てもずっと9割以上ですし、2019(令和元)、2020(令和2)、2023(令和5)年度は100%でした。就職活動が始まる前には、準備すべきことなどの情報を学生に提供をしています。

就職先は大きくは3つあります。①一般企業(小売業、情報通信業、サービス業、教育・学習支援業など)、②公務員(専門職を含む)、③医療・福祉系の就職(社会福祉施設など)です。つまり専門性を活かした幅広い進路・就職が可能ですから、どのような分野にも就職しています。一般企業のさまざまな職種、公務員など、特定の分野に偏っているということはありません。また、半数近くが、福岡県内に就職しています。

また、他の学科とは異なり、大学院に進学する人も多くいます。就職を希望しない者は、公務員試験・教員採用試験再受験、資格取得のために専門学校進学、アルバイト・フリーターなどです。

**Q2 心理学を勉強すると、どのようなところに就職できますか?**

**A** 心理学は人間が関わることすべてに関係する学問ですから、どのような仕事にも役立ちます。公務員、福祉関係、一般企業事務、営業、人事、製造業、出版・放送、サービス業、なんでも役立ちます。ただし、勉強した本人が積極的に役立てる努力をしないと何の役にも立ちません。4年間で勉強した上で、さらに仕事をしながら現場に応用できる心理学を学ぶことが必要でしょう。

カウンセラー等心理学と直接関係があると思われている仕事に関しては、大学4年の勉強では不十分です。大学院に進学して実践的に学ばなければいけません。

## Q3 カウンセラーになるには、臨床心理士をもっていないとだめでしょうか?

**A** カウンセラーは、医療資格のように特定の資格がないとできないものではありません。カウンセラーに関わる資格は臨床心理士や公認心理師をはじめ多くのものがありますが、民間資格では大学卒業後に指定の大学院進学や実務経験といった要件を充たすことで受験資格が得られるものもあります。

例えば、臨床心理士の受験資格取得には指定大学院や専門職大学院への進学が必要となりますが、本学では毎年数名の学生が臨床心理士を目指して大学院進学を選択しています。いずれにせよ、カウンセラーには臨床心理学以外にも心理学全般の知識が求められますので、心理学関連の科目を幅広く勉強することをお勧めします。

**(補足:本学では公認心理師養成課程は開設されていません)**

## Q4 大学院の進学者はどの程度ですか?また、どのような大学院に進学していますか?

**A** 年によって異なるようですが、現役以外の学生を含めると、年に数名程度でしょう。最も多いのは、北九大をはじめ、九州大学の大学院や広島大学の大学院など近隣の大学院です。それ以外では、京都大学、大阪大学、名古屋大学、関西大学、お茶の水女子大学などの大学院に進学した学生がいます。

# 就職・進路先の支援

## Q5 就職に関しては、どのような対策をとっていますか?

**A** 北九州市立大学では、学生の進路・就職を支援するためのキャリアセンターが設置され、民間企業経験者を専任教員に迎え、学生の社会人としての基礎力を養成しています。

**＊1・2年生向けのキャリア支援**

1〜2年次から、「コミュニケーション能力や課題発見・解決能力といった仕事をする上で重要な力」「『なぜ働くのか』『将来何がしたいのか』といった職業観」「社会人としてのマナー」などの力を学生が身につけるよう、取り組んでいます。学科独自のキャリア支援も行っています。

**＊3年生以上のキャリア支援**

3年次以上に対しては、学生のニーズなどをふまえながら、就職のための説明会や対策講座、卒業生等のアドバイス、業界セミナー、(海外も含む)インターンシップのための情報提供を行っています。そして、就活手帳なども作成して配布したり、ホームページで求人情報を検索できるようにしたりしています。

さらに、「何をしたいかがわからない」といった段階の学生も含め、進路相談やキャリアカウンセリングなども対応できる体制を整えています。

キャリアセンターで登録を行った学生には、メールで講座の案内や企業説明会の紹介も行っています。4年次においても、就職状況をチェックしながら、個別の相談や情報提供も行い、卒業まできめ細やかに対応しています。

業種別では、例えばマスコミ関係については、無料講座などを受講したり、OB・OG訪問をしたりして就職活動を行っています。

## Q6 文学部は、就職に関する対策を何か行っていますか?

**A** 文学部では履歴書の書き方や面接対策の講座や、3年生以下向けに行う4年生による就職活動体験談など、さまざまなキャリア支援やセミナー開催などの取り組みを行っています。また学科独自の取り組みとして2年生開講の人間関係学演習Bでは、企業人の講話や就職内定者との懇談会などキャリア教育の充実も図っています。

ゼミでは、教員が個別に指導を行っています。とくに、ゼミの先輩とのつながりが有効で、職場や就職活動などの具体的な話を聞く機会や情報提供をしています。

また、ボランティア活動などの紹介もしています。

# 4 学生たちの声

| イニシャル | K. N. | 受験区分 | 学校推薦型選抜―全国推薦 |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

高校生のころ対人関係について興味を持っており、「人間関係学科」という名前に惹かれ、また心理学を学べると知ったから。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

学校推薦型での入学だったので、これまでずっと好きだった国語の現代文をより武器にするために文章を読んだり、実際に書いたりしました。あとは後悔のないよう学校行事を全力で頑張りました。

**大学生活について教えてください。**

受講できる学問分野が幅広いことです。幅広すぎとも思うくらいですが、興味のなかった、また名前も知らなかった学問領域に触れることができるので、その中で新たな発見を見出せることが魅力だと思います。

**高校生にメッセージをお願いします!**

今は偏差値や周りの評価を気にすることもあると思いますが、大学に入ってしまえば「どこで学ぶか」ではなく、「そこで何を学ぶか」が重要になると思うので、本当に気になるところや行ってみたいと思えるところを探して目指してみてください。

| イニシャル | A. I. | 受験区分 | 学校推薦型選抜―全国推薦 |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

自分自身、何がしたいのか、将来どんな職に就きたいのかがはっきりとしていなかったが、「人と関わること」がとても好きで、人と関わることに対して様々な学問分野から学ぶことができるのがこの学科だったため。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

高校時代は、とにかく毎回の考査で自分の全力が出せるように学習に対して熱心に取り組みました。毎回の課題はもちろん、勉強方法も模索し、自分に合った方法で勉強できるように時間をかけました。周りの人達の進路が決まり、焦りが出てくる中でも、自分らしく勉強することを大切にしました。そのおかげで、今では希望の学科に入学できているし、その学科で学びたいことを全力で学べていると感じています。

**大学生活について教えてください。**

専門科目を受講して、この学科はやはり人と関わることに対して深く学べると感じています。特に私が受講した専門科目では、悩みを持つ人との関わり方を学ぶことができ、悩んでいる人に寄り添うことが出来るだけでなく、自分が悩んだ時にも少し客観的にみることができて、そういった瞬間に「ここで学んでよかった」と感じることができます。

**高校生にメッセージをお願いします!**

人間関係学科は人に優しくなれる学科だと思います。人が考えていること全てを理解することはできないけれど、誰しも悩みを抱える瞬間はあってその瞬間に手を差し伸べたり、そばに寄り添える人はきっと、人間関係学科で学べるようなことを学んできた人なのだと思います。人のためにも、自分のためにもなるそんな学びをこの学科で学んでほしいと思います。

| イニシャル | M. S. | 受験区分 | 学校推薦型選抜―地域推薦 |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

心理学に興味があったこと、心理学に限らず幅広いジャンルを学べるため、卒業後の展望がまだ定まっていない人も学びやすいという点から人間関係学科を選びました。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

私は高校時代、勉強以外にボランティア活動でこども食堂に行ったことが良い経験だったと感じています。大学でも子どもや親子関係について学ぶ講義があるため、実際に子どもと触れ合った経験が少しは活かされているかなと思います。

**大学生活について教えてください。**

心理学を重点的に学べることが人間関係学科の一番の魅力だと思っていて、先生も学生も柔らかい雰囲気なので居心地が良いと感じます。

**高校生にメッセージをお願いします!**

講義も大学生活も楽しいので、ぜひ人間関係学科を選んで受験がんばってほしいと思います!応援しています!

| イニシャル | M. S. | 受験区分 | 学校推薦型選抜―地域推薦 |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

前提として自宅から通える県内の国公立であるという時点で北九州市立大学にしようという見立てはありましたが、その中でも人関を選んだ理由のまずひとつめは、博物館学芸員の資格を取ることができる学科であったからです。ふたつめは、心理学や社会学など、「個人について」そして「集団（人と人との関係）について」を掘り下げるような学問が学べる学科であったことです。どちらにも興味があったので、いわゆる「いいとこどり」ができる学科だと思いました。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

地域推薦を受ける資格があったので、３年生の時はとにかく小論文の練習をしていました。自分の考えを相手に伝わるように表現できる力が大切だと思います。文章を書く練習や、自分の言葉で表現する練習を繰り返したことが大学の授業でもレポートを書く時やグループワークをする時に活かせていると思います。

**大学生活について教えてください。**

「文学部」だから、しっかり文系のイメージが強いけれど、心理学はもちろん、数学みたく統計データを扱ったり、講義によっては高校の生物みたいな内容が出てたり、自然環境に触れることもあって、実際はかなりいろんなことを学べる不思議な学科であることが魅力だと思います。

**高校生にメッセージをお願いします!**

人と関わることが大切な学科で、「人間」や「環境」にかかわる幅広い学問を学ぶことができます。きっと「これが面白い」と思えるものが出てくるはずなので、自分にとって必要だと思う勉強をするといいと思います。頑張ってください。

| イニシャル | M. F. | 受験区分 | 学校推薦型選抜―特別推薦 |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

人間関係という生まれてから死ぬまで一生関わり続ける社会（人とのつながり）について興味を持ち、これからどのように人と関わるかを考える機会になると思ったから。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

私は特に小論文の勉強に力を入れていました。最初から共通テストでは受からないだろうと思っていましたが、小論文のような自分の考えを論理的に述べる作業は好きだったので、「小論文は得意です」と言えるくらいまでは勉強しました。最終的には100枚を超える小論文を書きました。

**大学生活について教えてください。**

人間関係学科では、心理学的な授業からフィールドワーク的授業まで幅広く勉強することができますが、中には虐待や体罰などの苦しき辛い体験を聞く授業があります。ですが、そのような実態が数多く存在しているということを認知しているだけで、少しは他者に対して優しくなれるような気がします。周りの人との関わり方を論理的に学べることが人関の魅力の一つだと思いました。

**高校生にメッセージをお願いします!**

人間関係や家族関係で悩んだ人は是非オススメします。自分と似たような境遇の人が他にたくさんいるだけで少しは心が軽くなると思うからです。

| イニシャル | N. S. | 受験区分 | 学校推薦型選抜―特別推薦 |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

高校生の頃に人間関係についての本を読み、心理学や人間関係について興味がわいたから。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

部活動で持続力を鍛えたので90分間フルで集中することができるようになった。

**大学生活について教えてください。**

初めは、専門のことなど全く分からず、授業についていけるのか不安だったけど全員が最初から理解しやすいように授業をしてくださるのでとても分かりやすく、人数もそんなに多くは無いのでみんなと仲良く、楽しく授業することができます。

**高校生にメッセージをお願いします!**

少しでも興味があるならとても楽しい学科で、たくさんの学びを深めることができるので絶対に受けたほうがいいです!

| イニシャル | H. K. | 受験区分 | 個別試験—前期（小論文） |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

特にやりたいことがなかったが唯一興味のあった心理学が学べる人間関係学科を選んだ。心理学の他にも様々な分野が学べるということも決め手のひとつ。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

高校生の頃、文化委員会の委員長をやっていた。ちょうどコロナでいちばん活躍するはずの文化祭が中止になったが、学校内の文集を作る際に全てのクラスがスムーズに提出できるように取り組んだ。

**大学生活について教えてください。**

人間関係学科って何を学ぶの?と聞かれた時一言では答えられないくらい学べる分野が多い。

**高校生にメッセージをお願いします!**

色々な学習分野がある中で自分がやりたいことがない、とか迷っているなら人間関係学科に入ってみて様々な分野に触れてみるのもいいかもしれない。私のように心理学目的で入学しても実際授業を受けてみて教育社会学に興味を持つこともあると思う。色んな学問に手を出してみたい方には向いているかもしれない。

| イニシャル | H. T. | 受験区分 | 個別試験—前期（小論文） |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

オープンキャンパスに参加して面白いと思ったから。実際大学に入ってからもその講義は面白い。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

小論文で多くの文章量を書き上げていたからか、授業後に感想を書く講義への抵抗感は薄いと感じる。人関の授業はレポートを書くものが多いため、受験のために小論文を書くというより今後の大学生活で困らないためという感覚で取り組んだ方が良い気がする。

**大学生活について教えてください。**

人について考えることが多いと感じる。生きていれば常に人と関わることになる為普段の生活で講義にあったことだ、と感じる機会があったのは感動した。

**高校生にメッセージをお願いします!**

実際に大学に行くことはパンフレットを読むより得られるものが多い。一度でいいから来てみると良い。

| イニシャル | R. T. | 受験区分 | 個別試験—後期（集団討論） |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

入試方法が自分に適していると思っていたから。
人文学を学ぶことで、自分を知り、変える手助けができると思ったから。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

高校生の時に取り組んだことは、地元について調査する、探求活動。
入試対策は、他の生徒や先生に集団面接の練習を手伝ってもらったこと。

**大学生活について教えてください。**

人間関係学科では、他人の背景について考えることができるようになる。表面的な言動で、他者を判断するのではなく、どういった文化、生活を経てそういった感情を持ったのか、言動をとるのかを捉えようとすることができること。

**高校生にメッセージをお願いします!**

受験勉強する時は体に気をつけて下さい。

| イニシャル | F. U. | 受験区分 | 個別試験—後期（集団討論） |
|---|---|---|---|

**人間関係学科を選んだ理由を教えてください。**

心理学に興味があること、その中でも人の心に関する分野を学んでみたいと思ったからです。コミュニケーションが苦手だけど人に興味がある、その分野に特化にして学びたいという主にこの二つが目的で入学しました。

**高校時代にがんばったことは何ですか?**

部活を頑張っていました。二つの部活を兼任しており、一つでは副部長を努めていました。初めてこのように大きな役職を任され、後輩や他校の生徒さんなど多くの人と出会うことができ、コミュニケーション能力や相手を思いやる気持ちが育むことができたと思います。大学入学後の演習やフィールドでも積極性を持って参加することができています。

**大学生活について教えてください。**

心理学とはどういうものなのかあらゆる分野からの実験探究が可能であり、みんなが個性的で自分にはない視点からの探究ができると感じます。

**高校生にメッセージをお願いします!**

心理学に興味がある人にはとてもピッタリな学科であると感じます。特に理系が苦手だけど国公立に入りたいという人にはおすすめです。

公立大学法人　北九州市立大学
文学部 人間関係学科『学科案内』
（企画戦略課　広報係　TEL 093-964-4196）

北九州市立大学文学部
特設ホームページは
こちらから▶